

令和6年度第1回羽幌町まち・ひと・しごと総合戦略検討会議 会議録

1 開催日時

令和6年11月29日（金）13時30分～14時00分

2 開催場所

羽幌町役場2階 幹部会議室

3 出席構成員及び欠席構成員の氏名

(1) 出席構成員

荒木 成希、蝦名 修、齊藤 誠、松森二美子、新名 旭、齊藤 暢
市川 惇史、三浦 義之、大平 良治、高橋 伸、三上 敏文、鈴木 繁
葛西 健二、宮崎 寧大

【代理出席】木村 謙彦、上田 睦、中佐 元基、岩井 孝晃

(2) 欠席構成員

西田 武文、新沼 文也

4 説明のため出席した事務局職員の氏名

デジタル推進課長 竹内 雅彦

デジタル推進課デジタル推進係主事 井上 直人

5 会議の公開、非公開又は一部公開の別

公開

6 議題及び議事の要旨

(1) 会議の運営事項に係る協議

○ 今後の会議の公開又は非公開について
公開とする

○ 座長の選任
三浦構成員を選任

(2) 議題

○ 第3期総合戦略素案について
事務局より別紙資料に基づき説明

【構成員意見】

(総合戦略名称について)

■意見等：表題名（総合戦略名称）をもう少しわかりやすいもの、簡潔なものにしてはどうか。

□回 答：国が示している総合戦略策定の手引きに沿って名称を仮で設定しているが、（新地方創生等により）デジタル田園都市国家構想自体の先行きが不透明であるため、名称の「デジタル田園都市国家構想の実現に向けた」という部分に関して、外すということも今回の議論を踏まえて、最終的に判断したいと考えている。

■意見等：覚えやすい名称が望ましいと思うが、判断については、事務局に一任したいと思う。

□回 答：一任していただけるということでありましたので、名称は「第3期」から始まる名称で考えたいと思います。

(基本目標(1)の登載事業に係る内容について)

■意見等：空き店舗の情報発信については、すでに事業としてやっているものかどうか。

□回 答：事業としてはまだできておらず申し訳ない。今後は空き店舗を探してもらえるような形で整えたいと考えている。

■意見等：すでにある「空き家バンク」に付随して行うようなイメージか。それとも全く別にするのかどうか

□回 答：町民課と連携しながら。

■意見等：農業関連で削除項目が多くみられるが、削除項目を引き継いだ内容が別事業に統合されており、問題ないと感じた。

担い手不足対策については、協議会でも取り組んでおり内容としても問題ないと思う。農業者を含めてデイワークという取組もあるので、今後町と協力できる体制ができていけば。

□回 答：短期的な住居確保の必要性も関係しており、既存事業（単独住宅等）で協力できる部分もあると思われる。

(外国人育成就労受入事業に係る外国人就労者について)

■意見等：事業者と町が協力し、例えば、日本文化が体験できるイベントを開催するなど、離島地域も含めて、外国人も住みやすい環境づくりの取組も、事業に組み込んでいければいいと思う。

□回 答：既存事業の中で、外国人の方としっかり交流が深められるように、企画をして、いろんな形で進めていくと思われる。

(離島について)

■意見等：離島でも漁業分野で、外国人就労者を検討している話を聞くが、住居がなかなか見つからないと聞いている。人手不足についても、夏場は全然足りておらず、5年10年後の島内の宿泊業を考えると、減っていくことは想像がつく。観光客だけではなく、仕事の人たちが泊まれる宿もないとなってくるので、そこ（担い手不足につながる悪循環）のスピードを遅らせる必要がある。島が駄目になって、次に羽幌が駄目になっていくということが想定できると思うので、そういうところ（学校や医療体制）を無くさないことが大事なことだと思う。

□回答：島内の住宅事情については把握している担当課と連携を取りながら対応していきたい。

(登載事業全体について)

■意見等：全体を通して、事業の集約や統合などがほとんどで、単純な事業削除については、1件ということか。

□回答：そのとおり。

(3) その他

(事務局より)

本日いただいた意見のほか関係機関等意見を頂いたのち、内容を固めていき、大きな変更があれば、再度お集まりいただくことも考えられますが、その際は改めてご連絡させていただきます。大きな変更がない場合は、完成版を送付させていただくことで完了とさせていただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。